



校長室だより

第 6 号

令和8年8月26日
大阪市立新東三国小学校
校長 濱田 良一

◇2学期が始まります◇

長かった40日間の夏休みが終わりました。お子様はどのような夏休みを過ごしたのでしょうか。

最近、気温が35度や40度を超えると「猛暑日」や「酷暑日」と呼びますが、この夏休み中、大阪では35度を超えた日が22日ありました。教員が校区内を巡視しても遊ぶ子どもたちの姿はあまりありませんでした。

そんな暑い夏休みに、新東三国小学校の子どもたちが頑張った取組がありました。

- ・5年生は7月22日(水)23日(木)の2日間、兵庫県のハチ高原へ林間学習に行ってきました。特筆すべきは、「ハチ高原も暑かった!」です。
- ・7月30日(木)は、浪速スポーツセンターにて「イングリッシュデイ」が開催され、6年生20名が参加しました。
- ・8月1日(土)2日(日)は本校で新東三国地域夏祭りが開催され、たくさん子どもたちが夜店や盆踊りを楽しみました。
- ・8月3日(月)は港区の三先小学校で「大阪市小学生英語絵本暗唱会」が行われ、6年生3名が参加しました。

これらの取組は本校のホームページでも紹介しています。

有意義に夏休みを過ごせた子どもたちには、たくさん思い出や経験したことをこれからの小学校生活で生かしていただきたいと思います。

しかし、夏休みを予定通り過ごせなかったり、失敗をしたりした子どももいると思います。なぜそうなったのか、こちらも反省を小学校生活で生かしていただきたいと思います。



2学期には10月には運動会、11月には全校遠足、12月には学力経年調査(3～6年生対象)と、運動や勉強に特化した行事や取組があります。気候も涼しくなります。体調に留意して、大いに活躍する2学期にしてほしいです。

今学期も、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◇81年目の平和を考える◇

第2次世界大戦(太平洋戦争)が終わり、81年が経ちました。8月6日(木)9日(日)15日(土)にはテレビやメディアなどで多くの特集が組まれていたので、ご覧になられた方も多いと思います。

近年、戦争というつらい経験をされた方も少なくなっています。先人の方々が大変な思いをして、今の日本の礎を築いてくださったことに感謝し、平和を維持していかないとはいけません。

しかし世界に目を向けると、まだまだ争いを続けていたり、一触即発の状態になっていたたりする国々があります。

今の私たちにできるのは、昔のことを知り、子どもたちのためにも、さらに平和な世の中にしていく思いをつないでいくことだと思います。

新東三国小学校の子どもたちにも戦争は決して起こしてはいけないこと、戦争はつらく悲しいことしか生み出さないことを、様々な学習を通じて学んでもらいたいです。

9月17日(木)18日(金)には6年生は修学旅行で広島へ行きます。平和とは何なのか、しっかりと考えることのできる2日間になりますように。



◇自然の恐怖も考える◇

この夏休み期間中、7月28日(火)には熊本県で震度7の大きな地震、8月13日(木)14日(金)には千葉県では豪雨があり、たくさんの方々が被害にあわれました。

地震や台風、火事など災害には人間の力では太刀打ちできないことがあります。

私たちにできるのは、災害にあった時、どう行動したらいいか、普段から意識をしておくことです。11月28日(土)には地域

との合同防災訓練を行います。お家の方もぜひご参加いただき、お子様と取り組んでいただけたらと思います。

